

## 2019年度 教員免許更新講習 選択講習(通学講習)

講習の名称	講習の期間	対象	講習の概要	担当講師	時間数	認定番号
【選択】養護教諭の専門性と健康課題への集団指導	平成31年8月14日	養護教諭	現代的健康課題の解決に向けた健康教育の実践に向けて、養護教諭に求められる専門性と役割について再確認する。特に、集団を対象とした保健指導と児童生徒保健委員会活動について、指導内容や指導方法、評価の捉え方や方法を検討する。	松原 みき子(大学院教職研究科教授)	6時間	平31-90004-500408号
【選択】児童・生徒の保健指導up-to-date	平成31年8月20日	養護教諭	児童・生徒の保健指導について、以下の4つについて、最近の知見を紹介しながら、わかりやすく解説します。なお児童・生徒の救命救急処置については、実際にふっしゅハートAED JAMY II-を使って実習していただきます。①小児精神疾患(不登校、限局性学習症、注意欠如多動症など)up-to-date②学校検診(心臓病、腎臓病など)up-to-date③感染症、アレルギー疾患と代謝疾患(糖尿病、メタボリックシンドロームなど)up-to-date④救急蘇生法up-to-date	宮川 三平(児童学部教授) 宮本 茂樹(短期大学部保育科教授)	6時間	平31-90004-500409号
【選択】組織的に機能する保健室経営の進め方	平成31年8月22日	養護教諭	子どもを取り巻く現代的な課題の解決に向けて養護教諭への期待が高まる中、学校経営における保健室経営の役割も大きくなっている。学校保健センター的役割を担う保健室経営の充実を図るため、課題解決型の保健室経営計画の作成のポイントと評価の方法を解説し、計画的・組織的に保健室経営を推進していくためのヒントを実践例から検討する。	小林 芳枝(心理・福祉学部教授)	6時間	平31-90004-500410号
【選択】生徒指導の理論と実践	平成31年8月6日	中学校・高等学校教諭(教諭・栄養教諭・養護教諭)	本講座では、中学・高校での生徒指導、教育相談、進路指導の意義と役割を再認識する。その上で、いじめ、不登校、問題行動等の解決策や教育相談のあり方、進路指導の指導助言の方法等について、具体的な実践事例を通して指導力量を身につける。授業内容は、プリントを配付し、講義を中心に進めるが、協議や検討を積極的に取り入れて進める。生徒に係わるすべての教員にとって必要な職業的教養です。	壺内 明(元児童学部教授)	6時間	平31-90004-500405号
【選択】効果的で魅力的な授業設計・実施・評価と協働と省察による教員研修	平成31年8月8日	中学校・高等学校教諭(教諭・栄養教諭・養護教諭)	中学校・高等学校教諭及び養護教諭・栄養教諭に求められる資質能力の内、ID(Instructional Design)の考え方に基づいた効果的で魅力的な授業設計・実施・評価に関わる授業実践能力に焦点を当て、専門的知識と理論及びスキルについて学修する。さらに、各自がこれまでに実践したことの意味を問い直すことで、自らの授業力・教師力を内省するとともに、同僚との協働と省察による授業力向上と教員研修の方法について、ワークショップ演習を通して体験的・具体的に検討する。	南部 昌敏(大学院教職研究科教授)	6時間	平31-90004-500406号

【選択】教育法規の再検討—体系的理解のために—	平成31年8月13日	中学校・高等学校教諭 (教諭・栄養教諭・養護教諭)	この授業はわが国の教育法規の体系的・立体的な考察及び理解を目的とする。全ての法規は関連し共鳴し合っている。故に学校給食は食育基本法、学校保健は審議会答申にまで立ち返り検討する必要がある。場合によっては、わが国が加盟する国際条約や各省通知まで受講者の皆さんの考察対象になり得る。皆さんの内に潜むリーガルマインドを触発し、教育法規の体系的理解を推進する確固たる台座を構築したい。	小田桐 忍(児童学部教授)	6時間	平31-90004-500407号
【選択】語彙力を高める国語の授業	平成31年6月16日	小学校教諭	日々の授業を工夫しながら行うことは、誰にも求められています。とりわけ、ことばの教育である小学校国語科は、教科の中核となるように期待されています。そういった現状を踏まえながら、小学校学習指導要領の改訂ポイントに沿って、指導方法について振り返るような提案を行います。一方的な講義だけでなく、相互のワークを伴いながら授業を進めていきます。日頃の実践を振り返るきっかけとしていただけたらと考えています。	有働 玲子(児童学部教授)	6時間	平31-90004-500395号
【選択】今、算数科でなぜ「読む」「書く」「話す」が重視されるのか	平成31年6月23日	小学校教諭	改訂学習指導要領は、「習得」「活用」「探究」の過程で「見方・考え方」を働かせ、より高次の「自立」「協働」「創造」を目指している。算数科では特に、「数学的な思考力・判断力・表現力」の育成が重視されている。そこで、本講習では、児童の数学的な思考力・判断力・表現力を育成するために、数学的な見方・考え方の具体例を通して、①今、算数科でなぜ「読む」「書く」「話す」が重視されるのか、②式等をよむ、書く、話す能力を育成するための指導のあり方、等を考察する。	一ノ瀬 喜子(児童学部教授)	6時間	平31-90004-500396号
【選択】新しい社会科の授業づくり	平成31年6月30日	小学校教諭	新しい小学校学習指導要領の実施を視野に、小学校社会科の実践の方策を検討する。主な内容としては、「社会科教育に求められる資質・能力」「社会科の学習内容と教材開発」「社会科授業をアクティブにする指導法」などを協議し合います。	廣嶋 憲一郎(大学院教職研究科教授)	6時間	平31-90004-500397号
【選択】「特別の教科 道徳」の理解と指導法	平成31年8月2日	小学校教諭	小学校において、「特別の教科道徳」が教育課程に位置付けられたことにより、学校においてはより質の高い授業の実践が求められている。本講義では、小学校の道徳教育の基本的な在り方や「特別の教科道徳」の特質を学習指導要領解説書をもとに理解するとともに、具体的な授業づくりなど、実践的に役立つ内容について考察する。併せて、指導案作成などを行い、実践的指導力を高めていく。	吉本 恒幸(大学院教職研究科教授)	6時間	平31-90004-500402号

【選択】今、算数科でなぜ「読む」「書く」「話す」が重視されるのか	平成31年8月2日	小学校教諭	改訂学習指導要領は、「習得」「活用」「探究」の過程で「見方・考え方」を働かせ、より高次の「自立」「協働」「創造」を目指している。算数科では特に、「数学的な思考力・判断力・表現力」の育成が重視されている。そこで、本講習では、児童の数学的な思考力・判断力・表現力を育成するために、数学的な見方・考え方の具体例を通して、①今、算数科でなぜ「読む」「書く」「話す」が重視されるのか、②式等をよむ、書く、話す能力を育成するための指導のあり方、等を考察する。	一ノ瀬 喜子(児童学部教授)	6時間	平31-90004-500414号
【選択】新しい社会科の授業づくり	平成31年8月6日	小学校教諭	新しい小学校学習指導要領の実施を視野に、小学校社会科の実践の方策を検討する。主な内容としては、「社会科教育に求められる資質・能力」「社会科の学習内容と教材開発」「社会科授業をアクティブにする指導法」などを協議し合います。	廣嶋 憲一郎(大学院教職研究科教授)	6時間	平31-90004-500415号
【選択】小学校理科指導の基本	平成31年8月8日	小学校教諭	小学校理科を指導する教員が身に付けておきたい内容を扱います。小学校学習指導要領理科の目標や内容、問題解決的学習の進め方等を解説します。さらに、顕微鏡や上皿天秤、電流計等の実験器具の操作の仕方や、ガスバーナー・薬品等を扱うときの安全指導について、実習を通して理解を深めていきます。理科は得意でないという方を対象に講習を進めていきます。	櫻井 茂(大学院教職研究科教授)	6時間	平31-90004-500403号
【選択】語彙力を高める国語の授業	平成31年8月13日	小学校教諭	日々の授業を工夫しながら行うことは、誰にも求められています。とりわけ、ことばの教育である小学校国語科は、教科の中核となるように期待されています。そういった現状を踏まえながら、小学校学習指導要領の改訂ポイントに沿って、指導方法について振り返るような提案を行います。一方的な講義だけでなく、相互のワークを伴いながら授業を進めていきます。日頃の実践を振り返るきっかけとしていただけたらと考えています。	有働 玲子(児童学部教授)	6時間	平31-90004-500416号
【選択】学習面や行動面に著しい困難のある児童への支援法	平成31年8月15日	小学校教諭	学習面や行動面に著しい困難のある児童を対象としたアセスメントの道具(認知検査、学力検査、チェックリスト)の内容や活用方法の基礎を学びます。そのうえで、事例を用いて、学習面や行動面のつまずきと、諸検査の結果との関連を考察したり、対象児の強い力を活かし、弱い力に配慮する指導がなぜ有効かを考察したりする討議演習を行います。最終的には、受講生の身近な事例や仮想事例で、教材等を考案することを目指します。	東原 文子(児童学部教授)	6時間	平31-90004-500404号

【選択】幼児の合奏 イキイキ・ワクワクリズム	平成31年6月16日	幼稚園教諭	リズムの基本は歩くことから始まります。歩いて正確なbeat(ビート)をとらえ、そこからいろいろなリズムを生み出していきます。「かえるのうた」でbeatの基本、ダイナミクス、フィーリング・タッチを、「チューリップ」で“音の気持ち”を感じ取ります。いろいろな楽器を鳴らしながら、合奏の仕組みを学び、楽しくメロディ・ハーモニー・リズム・低音伴奏が出来るようになります。また、幼稚園教育要領の表現領域において目的や内容も学びます。	山本 真理子(音楽学部教授)	6時間	平31-90004-500386号
【選択】人と関わる力を育む保育	平成31年6月16日	幼稚園教諭	幼児期は人間関係を育む重要な時期である。講習では、他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う保育をめざし、①乳幼児期における人間関係の発達、②改訂された幼稚園教育要領の領域「人間関係」の理解、③5歳児の事例から指導の在り方を考える。以上を中心に、グループワークを交えて行う。	篠原 孝子(兼任講師)	6時間	平31-90004-500387号
【選択】幼児期の健康生活	平成31年6月16日	幼稚園教諭	この講習では、平成30年度から実施された、『幼稚園教育要領解説』に示されている幼稚園教育の「改訂の基本方針」を踏まえ、領域「健康」のねらい及び内容、指導上の留意点などについて具体的に学びます。併せて幼児の健康生活を支える、「運動」・「食事」・「睡眠」等の生活習慣について、健康科学の視点から考究し、心身ともに健康な子どもを育成するための実践的知識を習得します。	佐野 裕子(兼任講師)	6時間	平31-90004-500388号
【選択】領域「表現」と保育者の役割	平成31年6月23日	幼稚園教諭	子どもの表現を支える保育者の姿勢について、保育者が行う環境の構成、保育者自身の子どもに対するかかわり方の2つの視点を通して学んでいきます。学習方法としては、事例を通してのグループディスカッションを主軸とします。改訂した幼稚園教育要領等の表現領域についても確認をします。	関口 明子(児童学部准教授)	6時間	平31-90004-500389号
【選択】ことばの力が育つ保育	平成31年6月23日	幼稚園教諭	乳幼児期の発達や就学前教育を取り巻く今日的課題を踏まえた上で、2017年告示版の「幼稚園教育要領」の内容を読み解きながら、乳幼児期にふさわしいことばを通じた表現の教育について多角的に考える。また、ことばの活動の実践事例の検討や絵本を使ったグループ活動を通して、保育や子育て支援等の場におけることばの活動の展開や必要とされる技術、援助の在り方について考えを深め、今後の保育にどのように活かしていくかを考察する。	藪中 征代(大学院教職研究科教授)	6時間	平31-90004-500390号

【選択】造形活動の持つ学びについて	平成31年6月23日	幼稚園教諭	造形活動には、様々な学びがあります。指や手の運動や感覚機能を意識した造形、または、他者との協力を意識した造形など、同じ教材でも方法やプロセスの違いによって学びは変化します。この講習では、造形活動の持つ性質について事例を紹介し、意見交換を行います。そして、実際に手を動かして通して、「造形活動」の持つ学びのひろがりについて学習します。また、幼稚園教育要領の改訂ポイントについても学習します。	西園 政史(児童学部准教授)	6時間	平31-90004-500391号
【選択】子どもの育ちと遊び	平成31年6月30日	幼稚園教諭	遊びは、幼児の成長、発達にとって欠くことのできない経験の場である。幼児が無我夢中になって遊ぶ姿を改めて見ると、発見や挑戦、友達との協同など様々な姿が見えてくる。ここでは、遊ぶことで幼児のなかに何が育つのか、幼児の遊びをどう理解したらよいかを改訂した幼稚園教育要領を踏まえて考えていく。そして、幼児の遊びの特徴と意義を再確認し、遊びの総合的指導について理解を深めていく。	近内 愛子(短期大学部保育科教授)	6時間	平31-90004-500392号
【選択】集団遊びの大切さを考える	平成31年6月30日	幼稚園教諭	近年、ますます子どもが戸外で群れて遊ぶ姿は減少している。子どもが思いっきり身体を動かして遊ぶ場と時間を保障できるのは、もはや保育施設(幼稚園、保育園など)であると言っても過言ではない。ここでは、改訂された幼稚園教育要領の基本を踏まえ、集団遊びの中で子どもが体験する内容を確認し、その指導法について考える。	永井 妙子(短期大学部保育科教授)	6時間	平31-90004-500393号
【選択】保護者との連携～伝えよう、幼児期の教育～	平成31年6月30日	幼稚園教諭	新教育要領 第1章 総則 第6 幼稚園運営上の留意事項に家庭との連携に当たっては、「保護者の幼児期の教育に関する理解が深まるように配慮するものとする」と述べられています。家庭との連携を十分にとって、一人一人の幼児の生活について理解を深めるとともに、保護者が幼児期の教育や幼児の発達の道筋、幼児とのかかわり方への理解が深まるように、個人面談、懇談会、便り、連絡帳などの日頃の実践を振り返り、保護者への伝え方を考えてみましょう。	古川 由紀子(短期大学部保育科教授)	6時間	平31-90004-500394号
【選択】子どもの育ちと遊び	平成31年8月5日	幼稚園教諭	遊びは、幼児の成長、発達にとって欠くことのできない経験の場である。幼児が無我夢中になって遊ぶ姿を改めて見ると、発見や挑戦、友達との協同など様々な姿が見えてくる。ここでは、遊ぶことで幼児のなかに何が育つのか、幼児の遊びをどう理解したらよいかを改訂した幼稚園教育要領を踏まえて考えていく。そして、幼児の遊びの特徴と意義を再確認し、遊びの総合的指導について理解を深めていく。	近内 愛子(短期大学部保育科教授)	6時間	平31-90004-500411号

【選択】集団遊びの大切さを考える	平成31年8月5日	幼稚園教諭	近年、ますます子どもが戸外で群れて遊ぶ姿は減少している。子どもが思いっきり身体を動かして遊ぶ場と時間を保障できるのは、もはや保育施設(幼稚園、保育園など)であると言っても過言ではない。ここでは、改訂された幼稚園教育要領の基本を踏まえ、集団遊びの中で子どもが体験する内容を確認し、その指導法について考える。	永井 妙子(短期大学部保育科教授)	6時間	平31-90004-500412号
【選択】保護者との連携～伝えよう、幼児期の教育～	平成31年8月7日	幼稚園教諭	新教育要領 第1章 総則 第6 幼稚園運営上の留意事項に家庭との連携に当たっては、「保護者の幼児期の教育に関する理解が深まるように配慮するものとする」と述べられています。家庭との連携を十分にとり、一人一人の幼児の生活について理解を深めるとともに、保護者が幼児期の教育や幼児の発達の道筋、幼児とのかかわり方への理解が深まるように、個人面談、懇談会、便り、連絡帳などの日頃の実践を振り返り、保護者への伝え方を考えてみましょう。	古川 由紀子(短期大学部保育科教授)	6時間	平31-90004-500417号
【選択】言葉の機能と発達	平成31年8月7日	幼稚園教諭	生まれたばかりの子どもは言葉を発しません。言葉をどのように獲得していくのか、言葉の発達の過程を振り返ってみましょう。また、言葉の機能とは何かについても復習しましょう。日々の保育の中で、言葉に関して気になる点を出し合い、どのような援助が大切かを考えましょう。今回の幼稚園教育要領の改訂で新設された言葉に関する点(言語活動の充実、言葉遊び、外国人幼児等)についても考えてみましょう。	東川 則子(短期大学部保育科准教授)	6時間	平31-90004-500398号
【選択】保育内容の最新事情	平成31年8月9日	幼稚園教諭	幼稚園教育要領の改訂も踏まえ、21世紀型能力の育成について幼児教育の改善を具体的に考えていきます。特に三つの自立、思考力の芽生えを育む保育の在り方について、資料や協議により考究します。また、幼児期の生活とアクティブラーニングについて考察し、日々の保育の充実に役立てます。	塩 美佐枝(大学院教職研究科教授)	6時間	平31-90004-500399号
【選択】幼児理解を深め、保護者相談に生かす	平成31年8月9日	幼稚園教諭	幼稚園教育要領等の改訂に伴い、保育の実践を見直すことは大切なことです。幼児の成長発達は実に多様になっているといえましょう。生活習慣が出来ておらず、おむつのとれるのが遅い子どももいる一方、英語やピアノ等のおけいこ事が忙しい子どももいます。子どもの言動から子どもに今必要な援助がわかる保育者になるには、幼児理解の幅と、深さが必要となります。その上で、保護者とどう向き合ったら良いかを、保護者理解も含め、考え学び合います。	高橋 かほる(兼任講師)	6時間	平31-90004-500400号

【選択】これからの造形教育を考える	平成31年8月14日	幼稚園教諭	社会の様々な変化に伴い、今、幼児の造形は新たな展開の時期をむかえています。国内外の最新の実践事例を知ると共に、簡単な実技をとおしてこれからの造形教育を考えていきます。造形教育をとおして、どのような力が身につく、育まれるべきなのか、指導者はどのように関わっていけば良いのか等を再考する機会をつくります。また、改訂した幼稚園教育要領を踏まえて、表現と鑑賞の関係についても学びます。	大成 哲雄(児童学部教授)	6時間	平31-90004-500401号
【選択】造形活動の持つ学びについて	平成31年8月15日	幼稚園教諭	造形活動には、様々な学びがあります。指や手の運動や感覚機能を意識した造形、または、他者との協力を意識した造形など、同じ教材でも方法やプロセスの違いによって学びは変化します。この講習では、造形活動の持つ性質について事例を紹介し、意見交換を行います。そして、実際に手を動かすを通して、「造形活動」の持つ学びのひろがりについて学習します。また、幼稚園教育要領の改訂ポイントについても学習します。	西園 政史(児童学部准教授)	6時間	平31-90004-500419号
【選択】ことばの力が育つ保育	平成31年8月20日	幼稚園教諭	乳幼児期の発達や就学前教育を取り巻く今日的課題を踏まえた上で、2017年告示版の「幼稚園教育要領」の内容を読み解きながら、乳幼児期にふさわしいことばを通じた表現の教育について多角的に考える。また、ことばの活動の実践事例の検討や絵本を使ったグループ活動を通して、保育や子育て支援等の場におけることばの活動の展開や必要とされる技術、援助の在り方について考えを深め、今後の保育にどのように活かしていくかを考察する。	藪中 征代(大学院教職研究科教授)	6時間	平31-90004-500418号
【選択】領域「表現」と保育者の役割	平成31年8月22日	幼稚園教諭	子どもの表現を支える保育者の姿勢について、保育者が行う環境の構成、保育者自身の子どもに対するかかわり方の2つの視点を通して学んでいきます。学習方法としては、事例を通してのグループディスカッションを主軸とします。改訂した幼稚園教育要領等の表現領域についても確認をします。	関口 明子(児童学部准教授)	6時間	平31-90004-500413号